

笠ノ登山

2014年9月7日
リーダー:藤井一義



↑山頂にて

「笠の登山」の山行報告 リーダー 藤井一義

今月の山行は天気が良いはずと思っていた、しかし今年は全く天気が読みにくい、1週間前からやきもきとし天気予報とにらめっこしてきた、雨の事も考えいろいろと頭をめぐらすが今一つよいコースが思いつかない、PCで情報調べ周辺観光を調べたり、市の観光課に問い合わせたりとしてきた。当日次第としてあきらめ天候回復を祈るしかない。朝おきると雨空は変わらない雨支度してせんげん台に歩くこと20分、5:35にはバスも来ていた、今日運転手はおなじみの館山さんである。ルート打ち合わせて、メンバー確認して出発、春日部組から3人キャンセルあり合計25人の参加となった。バスは3人席であるが、旧型で残念。(戸邊さんがDVD用意してきたが映せなかった。)一路東松山ICに向かう、雨は一向に良くならない、伊藤会長とも相談して、今日は、このまま雨なら観光に切り替えて、布引観音と海野宿コースか上田城周辺かとか話しながら、進むが、ますます雨が降っている、最初のトイレ休憩は上里SA、その後小諸ICに向かう、軽井沢のトンネルをいくつか過ぎ、なんとなく現地が晴れていればという気がしていた。トンネルを通過し終えて佐久平方面は明るくなっていたこれはひょっとすると、登山できるかもと気持ちがはやる、目的地の地蔵峠に差し掛かると雲が切れ始めた、間もなく池之平駐車場に到着した。9:30分頃空を見上げて一部青空が出ていて日光に感謝。さそく準備体操して出発10:00、雨の心配しなくてすみそう、皆に声掛けして樹林帯に入り気分よく登山だ。しばらく行ったところで東籠の登山の姿が見てカメラに収めた、次第に登ってゆくと、岩場の道が少しずつ急になってきて、50分程度で頂上に到着した。みんなで記念写真におさまりながら考えたが、頂上はガスが出ていて360度の景色は見えなく、登ってきた下のほうに駐車場とその反対側



←登山前の準備体操を指揮する藤井リーダー

に池之平湿原の遊歩道が見えた、皆に話した。西籠の登山や水の塔山はガスが出ている、景色は変わらないし、湿原に行って昼にしましょうと提案になった。さて決まればすぐに下山だ、池之平方面は太陽が照っていてすごく明るい、皆軽快に下山してきた。早くいって昼食にしたいとの思い40分弱で下山、駐車場館山さんに連絡して反対側のコースをハイキングし2時までには戻れることを話した。湿原の木道も心地よい、花々の写真を撮りながら歩く、上から眺めた湿原の奥の休憩場所は明るく日差しがあり、樹のベンチで昼食となった。ガスがわいてきても湿原のところに来ると薄れて日が射している、頭上は青空で今日ほど天気になったのが不思議なくらいと自分でも思う。13:30にバスのところに戻ると館山さんに速かったですねと言われた、バスに乗って湯楽里館東部の日帰り温泉に行く14:15この露天風呂は眺めも良くて気持ち良い、日に浴びながら風呂につかる、天気が良くて不思議な気持ち、風呂から出て、休憩場所で恒例の生ビールでのどを潤し、15:30再びバスにのり帰路につく。帰りも東松山ICで降りてそれぞれ春日部、せんげん台組は恒例の反省会食事会をし、またビールを飲んで帰宅できました。現地で晴れればもう言うことなしです皆様本当に良かったですね。



9月山行「籠ノ登山」に参加して／戸邊茂雄



↑頂上に立つ戸邊さん

9月7日(日)、籠ノ登山(籠ノ塔山とも書く)の山行に参加しました。籠ノ登山は長野県東御市と群馬県嬬恋村の境にあり、浅間連峰(烏帽子火山群)に属する山で、東籠ノ登山(2,227m)と西籠ノ登山(2,212m)の双峰をいいます。

朝起きたら、夜中から降っていた雨がまだ降っておりました。天気を心配しながら5:45にせんげん台を出発しました。6:00に春日部組が乗車して25名の参加者で雨の中を出発です。本日の運転手は館山さんです。しばらく一般道を走って7:15に東松山ICから高速に入りました。まだ雨が降っていてリーダーは登山をするか予定を変更して観光にするか決めかねておりました。しかし、徐々に雲が切れてきて雨が上がる気配がしてきましたのでバスは目的地に向かいました。8:50に小諸ICから高速を降りましたが、この頃には山はガスっておりましたが雨は止みましたので登山をする方向に皆の気持ちが傾きました。そして9:25に池の平湿原駐車場に到着です。山の景色ははっきりしませんがとりあえず雨は降っておりません。足元がぬかるんでいるのでスバツを付けることにしました。

リーダーの音頭で準備体操をして9:50登山口から出発です。樹林の中を進

↓登山口にて



↓ノアザミの蜜を吸うツマグロヒヨウモン



↓マツムシソウに群がるジャメチヨウ



↑リンドウ



↓下田さんと中瀬さん



↑ニホンミツバチ

↓オチャメな村田さんと松島さん



んで行くと徐々に岩混じりの道になり、やがて岩場となって勾配も徐々に強くなるが決してきつい登山ではなく40分歩いて10:30に東籠ノ登山の頂上に着きました。途中、マツムシソウ、エゾリンドウ、イワインチンなどの花がたくさん見られましたので忙しく写真を撮りながら登りました。頂上ではガスがかかったり消えたりでしたが景色は展望できました。青空も見えるようになりました。隣の西籠ノ登山がすぐそばに見えておりましたが同じような山なので登らずに下山して下の池の平湿原を散策することになりました。頂上では記念写真を撮って休憩し、11:30に登山口に戻りました。

池の平駐車場から30分ほど湿原を歩いた先に忠治の隠岩広場という休憩所があり、そこで昼食となりました。湿原にはたくさんの花が咲いていて蝶もたくさんおりました。時折霧がでてきたかと思うと引いて行ったりして幻想的な風景を醸しだしていました。花を見ながら湿原の中を歩いて13:30にまた駐車場に戻り本日の山行が終了しました。

登山のあとはお決まりの温泉です。14:10から15:30まで湯楽里館で温泉入浴とビールでくつろぎ、コンビニでアルコールを仕入れて帰るの途につきました。この頃には天気はすっかり晴れていて暑くなっています。バスの中ではお酒もすすみ、話も弾み大盛り上がりです。特に後部座席はいつもながら賑やかでした。18:10に東松山ICを降りて、19:30に春日部に到着しました。我々せんげん台組はいつもの様に中華食堂で反省会を行って帰宅は21:30でした。

晴れ男リーダーの藤井さん、会計係の清水さんと吉田さんははじめ皆様、今回も楽しい山行ありがとうございました。

↓池の平湿原にて01



↓池の平湿原にて02

↓池の平湿原にて03



↓いつも元気な伊藤ユリ子さんと岡本八重子さん



蔵王山行についてのお知らせ

(装備・リーダーの指示・バスハイクの復活・小さいお金)

10月1日、蔵王山行の最終打合せを行ないましたのでお知らせいたします。

*参加者は29名です（女性21人・男性8人）。部屋数は女性5部屋・男性2部屋。

部屋割りはバスの中で決めます。

*服装・装備について — 晴れたら清々しい秋山です。一方、天気が崩れると冬山になります（唐松岳のように）。したがって最悪の事態を想定し装備を整えて下さい。

・手袋、帽子、スパッツ、雨具、防寒着などは必携です。もし天気がよければ荷はバスにおけますので邪魔にはなりません。

今回は火山の山に登るためにマスクを必ず持参してください。ヘルメットがある方はご用意ください。

◎天候、火山性微動などを考慮して、これまでと同様に登山しない場合もあります。

リーダーの松島さん、サブの市川さん、伊藤の判断に委ねてください。

●今年の紅葉は例年より1～2週間早いため、バスハイク組（沼めぐり）を復活することにしました。

コースは、旅館から山組者とバスに同乗して刈田岳駐車場まで一緒に行きます。

晴れていればお釜をチラッと見て、山組の下山場所である山形蔵王に行きます。ロープウェイに乗り換えてドッコ沼近辺を散策します。山組の下山時間に合わせてロープウェイで降りて来てバスで山組と合流します。あとは同じコースです（ロープウェイ代は会費にふくまれています）。

沼めぐりに参加しようと思われている方は、薄手のジャケット、手袋、ハイキングシューズでかまいません。マスクはお釜を見るとときに携帯します。

沼めぐりのリーダーは伊藤です。

沼めぐりコースの希望者は1日目のバス車中で受け付けます。

・1日目は村田の町・白石の町めぐりになりますから、普段着できても構いません。バスは大型バスなので、荷はバスに置けます。

・会費は3万円です。そのうち千円を小さいお金（百円玉×10ヶ）で用意できる方はご協力を願いいたします。

*宿は国の有形文化財に指定された由緒ある建物です。風呂は伊達のお殿様やお姫様が湯浴みした歴史ある浴槽です。ごゆるりとご堪能してください。

新会員入会の一時中止について

遊友ハイキングクラブの会員数が48名になりました。先日も2名の方から入会の申し込みがありましたがお断りをしています。それは、昨年に会員が40数名を超えた時点で入会を中止したことになります。会員数が50人にもなると、今の山行の運営方法や会員の安全面を考慮した場合に、大きな支障がきたすからと役員会の総意があったからです。そのことは、遊友ハイキングクラブが作られときからの考え方です。

その一方で、会則に記されていない「休会者の存在」など、あいまいなこともあります。これらのことについては役員会で検討して、今度の総会に諮りたいと考えています。

それまでは入会者を中止しますので、ご理解のうえご協力をお願いします。

2014年10月3日 遊友ハイキングクラブ会長 伊藤松雄